

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	109・110	209・210	309・310	409・410	509	609
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉の力」として単元の最初に位置付けられており、子ども自身がどんな力を身に付ければ良いか分かりやすくなっている。 ・「練習問題」や「漢字」の学習のQRコードが位置付けられており、プリントを選んで学習したり、書き順を確かめたりしながら、基礎的な知識を身に付けることができる工夫がされている。 <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む言語活用や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年に「国語ノートの作り方」のページが設けられている。「デジタルノートの作り方」は三年上より掲載されており、思考ツールを用いて学習を進めることも提案がされている。 ・「読む」「書く」の複合単元では、図や資料が適切に配置してあり、自分の考えに取り入れやすい工夫がしてある。合わせて「情報のとびら」を扱うことで、子どもたちが情報の考え方を捉えやすくなっている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うと共に、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見通す」「取り組む」「振り返る」でどの単元も構成してあり、学習の流れの見通しをもちやすくしている。 ・年間を通して「こんな本もいっしょに」の読書の提案が単元ごとにあり、多様なジャンルの書籍に親しむための工夫がなされている。また、学校図書館や地域の図書館施設、社会教育施設の活用を促すページもある。 <p>④ 他教科との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では、「生かそう」のコーナーで、具体的な場面を取り上げて学習したことを活用できるように示されている。 ・教科書単元と連動したQRコンテンツが「資料室」として用意されており、探究的な学びへとつながりやすくなっている。 <p>⑤ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝えたい言葉」では古文や漢文、伝統芸能などを教材として日本語の美しさ豊かさに触れられるようになっている。 ・QRコードが掲載されていることで難しい日本語も正しい音声を通して学ぶことができる。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教材の構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にロードマップで年間の単元が示されていることで、見通しがもてるとともに身に付ける「言葉の力」を意識して取り組める工夫がされている。 ・第2学年下巻まで分ち書きで記載されている。 <p>② 表紙や挿絵、写真の大きさ、書体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に学習するキャラクター4人を配置し、学習過程の様々な場面で吹き出しを通して学習を導いたり、振り返りを促したりして、ともに学び、成長していく実感が得られやすいようにしている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	17		発行者の略称		教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	111・112	211・212	311・312	411・412	511・512	611・612
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能に関する小単元が「言葉の広場」と「漢字の広場」に分けられており、言葉の働きや漢字の力などを身に付けるための質・量ともに充実している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、文型・話型や学習用語などの汎用的な知識が巻末に一覧で示されており、ほかの学習場面でも生かせるようにしている。 <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5・6年の上巻の早い時期に情報の整理の仕方に関する小単元が設けられており、学習した情報学習能力を活用できるよう工夫されている。 ・書くことの教材では、目的がはっきりした実用的な文章から自分の心と向き合う自己を表現する文章まで、多様な文種に触れられるようにしている。また、読むことの「説明的文章」では、説明の展開の仕方を単純なものから複雑・高度なものへと、段階的にふれられるよう配慮されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」で、ウェブサイトと連動して学習に関連する情報が取り出せるようにし、児童の「もっと学びたい」という思いに応えられるようにしている。 <p>④ 他教科との関連や実生活の場への活用、探求的な活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろがる言葉」の単元名の下にはSDGsの17の目標マークがあり、他教科と関連付けたり、児童の探究的な学びへと発展させたりする工夫がある。 ・各学年の巻頭の「ひろがる言葉 学ぶこと」で学習の見通しをもち、巻末の「ひろがる言葉」でどんなことを学んだのか、また、どのように生かすことができるのかアウトプットする活動を設定している。 ・小単元「読書の広場」では、図書を紹介だけでなく、身近にある情報を収集できる施設なども紹介されており、実生活との関連付けがされている。 <p>⑤ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年に「言葉の文化」の小単元があり、1年生から6年生までの全ての学年において日本の言語文化について分かりやすく親しむことができるようにしている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教科書の構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を分冊とし、1冊当たりの重量を軽くしている。分冊にしたことで全体のページが増え、付録が充実している。 <p>② 表紙やさし絵、写真の大きさ、字体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域に応じてページの上部やサイドに「読むこと」は赤色、「書くこと」は青色、「話す・聞く」は黄色で色の帯が引かれている。 ・「話す・聞く」「書く」「読む」「言葉」それぞれに絵と色の違うマークがあり、一目見ただけで何の領域の学習なのかが判別できるようになっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	38		発行者の略称	光村		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	113・114	213・214	313・314	413・414	513	613
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉について考えよう」という単元が第2学年以上で新設され、言葉の使い方における具体的な問題場面が提示されている。 ・巻末付録「言葉の宝箱」や「伝え合うための言葉」では、同じ観点で系統立てて記載している。児童が思考、表現する際の手帳や表現方法がまとめて示されている。 <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年以上の巻末に「図を使って考えよう」を設け、思考ツールと思考を表す表現がまとめられている。また第6学年巻末にはプログラミング的思考に資するよう、「課題解決に向けて考える」が掲載されている。 ・「書く」単元では、上段に学習過程を示し、下段には既習事項や思考する際の観点や方法が書かれており、児童がそれぞれの学習活動においてそれらに着目しながら書くことで、自ら考えたり考えたことを表現したりする力を身に付けることができるよう工夫されている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めに「問いをもとう」が位置付けられ、身に付けたい資質や能力に関わる問いが生まれやすいようになっており、主体的な学びへと繋がる工夫になっている。 ・単元の終わりの「ふりかえろう」ではつきたい力ごとに観点が示されており、児童が単元全体を通して学習内容を振り返り、学びを次へ活かせるように工夫されている。 <p>④ 他教科との関連や実生活の場への活用、探求的な活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小単元「本は友達」を年2回設け、図書館の活用について学び、読書を広げる工夫がなされている。いずれも1学期中に実施できるよう配置され、児童の探究的な活動につながる工夫がされている。 <p>⑤ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣用句や短歌・俳句、昔話や簡単な古典、狂言などに親しむことで日本文化の作品世界を感じ取ることができるように工夫されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教科書の構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2学年以上の学年において、巻頭に「国語の学びを見わたそう」のページがあり、学び方が見開きで分かるようになっている。また、つきたい力ごとに単元が整理されこれから学ぶこととこれまでに学習したことを上下段に配置して結び付けられるよう工夫されている。 ・第4学年までは上下巻2分冊構成で、第2学年上巻前半までは分ち書きで記載されている。 <p>② 表紙やさし絵、写真の大きさ、字体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙は、身近な動植物が鮮やかな色彩で、巻ごとの題名「わかば」「はばたき」などのテーマにそって描かれている。第6学年の表紙に全学年のモチーフが散りばめられていて、児童が懐かしく手に取る工夫がされている。 ・「読む」単元の1ページ目には、児童が内容を端的にイメージできるような写真や絵が大きく配置されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称		東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
		106	206	306	406	506
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1・2学年には、「しょしゃたいそう」が掲載され、二次元コードも添付されている。姿勢や鉛筆の持ち方を意識し定着させられるようになっている。また、右利き・左利きの鉛筆の持ち方、紙の押さえ方が実物大の写真で掲載されており、自分の手と比べながら確かめられる。 第4～6学年の巻頭には、毛筆の点画の名前と書き方が示されている。 第3学年以上は、平仮名が毛筆での表記になっており、字形や点画のかき方が分かりやすくなっている。また、その学年で習う漢字については毛筆と硬筆の両方の表記になっている。 第1学年では、「ひらがなのかきかた」として「まがり」「おれ」「むすび」を別々のページに掲載し、それぞれ丁寧に学習できるようにしている。 第1学年では、平仮名の字形を整えるため、マスをもとに分けて番号を振っている。また拗音や促音を書く場所を番号や色を強調し、分かりやすくしている。 <p>②自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のポイントが「書写のかぎ」として示され、用語や内容などが端的に示されている。 第2～6学年は、「①見つけよう②たしかめよう③生かそう④ふりかえろう」という課題解決的な学習過程が表記されている。 第2～6学年までの表紙裏のページが「おかしいな～」というシリーズで、書写に関する問題発見・解決能力を育成する内容になっている。 その時間のめあてについて話し合う場が多く設定されている。また資料動画のある単位には、全学年二次元コードが示されている。動画にはねらいに沿ったナレーションが入っている。 第4～6学年の最終単位では、既習事項を基に自分で書く文字やめあてを設定するようになっている。 <p>③伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「文字といっしょに」のシリーズで、第1学年「漢字の由来」、第2学年「いろは歌」、第3学年「俳句」、第4学年「俳句」「百人一首」、第5学年「竹取物語」「奥の細道」「枕草子」、第6学年「漢詩」「論語」が取り上げられている。 <p>④日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 身に付けた知識・技能を生活に生かす単位として「生活に広げよう」を設けている。国語や他教科の学習で扱う書式や内容を題材に年間2か所設定している。(連絡帳・原稿用紙・手紙) 					
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1・2学年は、3～4単元、第3～6学年は、8～9単元で構成されている。学年の配当時数を考えた単元数や分量になっている。 <p>②見やすさ・使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻末には該当学年までに学習した大切なこと（書写のかぎ）が記載されている。 第3学年以上の表紙裏には、系統別に目次を示しており、各学年の重点内容が一目で分かるようになっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
		107	207	307	407	507	607
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年に平仮名表が書き順付きで掲載されている。 ・当該学年の漢字表は、第1・2学年は全書き順、第3学年以上は間違いやすい部分の書き順が記載されている。 ・第1・2学年は、「①はじめのがくしゅう」として姿勢や用具について丁寧に記載されている。(消しゴムの使い方、机上の物の配置など) ・第3学年以上は、PCやタブレット端末を使う際にも姿勢を意識するようという記載がある。 ・第1・2学年で「よいしせいのあいことば」「えんぴつのもちかたのあいことば」が示されている。また、運筆等の練習のために、水書用紙を使ったり、体を動かしたりする「しょしゃのたいそう」が示されている。 <p>②自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめの学習」として「学習の進め方」(基本の学習過程)の確認がある。以後は「めあて⇒ためし書き⇒まとめ書き⇒振り返り⇒活用」の学習の流れに沿って記載され、見通しをもちやすくしている。学年の発達段階に応じた問題解決的な学習過程になっている。 ・第3学年以上は最終単元「学習のまとめ」で、既習の観点(組み立て、配列、点画のつながり等)を示しめあてを選んで学習活動に向かえるようにしている。 ・第5・6学年では自分のめあてに合わせた練習をするために、練習用紙の作り方が掲載されている。 <p>③伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知りたい 文字の世界」では文字そのものへの興味関心を高める単元を設けている。(活字、身の回りの文字とその印象など) ・第3学年では「俳句」「漢字の成り立ち」、第4学年では「短歌」「かるた」、第5学年では「竹取物語」「平仮名のもとになる漢字」、第6学年では「俳句」「枕草子」が取り上げられている。 <p>④日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本単元で身に付けた知識・技能を生活に生かす単元として「レッツトライ○○で生かす」を設けている。ポスターを書くときの字の大きさや配列、目的に合った書く速さを知るなど、どの教科のどんな場面で何について学ぶのが明確にされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1・2学年は3～4単元、第3～5学年は8～9単元、第6学年は6単元で構成されており学年の配当時数を考慮した単元数や分量となっている。 <p>②見やすさ・使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードがあり、ウェブサイトを活用できるようになっている。 ・第3学年以上の最初の単元では名前の手本が入っていて、名前を書く位置や大きさの目安となっている。 						

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称			光村		
学年別の教科書番号	1年 108	2年 208	3年 308	4年 408	5年 508	6年 608	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に平仮名・片仮名・ローマ字・当該学年の漢字表を示し、き順や字形の定着を図っている。 ・第3学年では、平仮名・片仮名表を硬筆・毛筆の2種類を掲載し、各の字形や点画のつながりが分かりやすくなっている。 ・第1～3学年では、姿勢を意識するための「しょしゃたいそう」が掲載されている。また、左利き用の鉛筆の持ち方や紙の押さえ方が写真で示されている。タブレットを使う姿勢も示されている。 ・第1学年では、平仮名の字形を整えるため、マスを4つに分けて番号を振っている。また拗音や促音を書く場所を、番号や色を強調し分かりやすくしている。 ・第3学年では、毛筆の筆圧の強い順を数字や言葉で表すことで分かりやすくしている。 <p>②自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんなことはないかな」では、してしまいがちな書き方や誤字を載せ、よい字を書くことへの必要感や意欲を高められるようにしている。 ・第3学年から、学習の進め方として「①考えよう②たしかめよう③生かそう」という学習の流れが明確にされている。 ・第5学年では、書くときの速さや文字の大きさ、第6学年では、情報を分かりやすく伝えるための工夫が取り上げられている。また、第2・3学年に「なぞとき」というテーマで、「整った文字を書くための決まりを見つけよう」という問題発見・解決する活動が取り上げられている。 ・第3～6学年の最終単元では、既習事項を基に自分で書く文字やめあてを設定するようになっていく。 <p>③伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では「漢字の由来」、第3学年では「ことわざ」、第4学年では「俳句」「百人一首」、第5学年では「竹取物語」「枕草子」、第6学年では「俳句」「文字の歴史」が取り上げられている。 <p>④日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6学年「書写ブック」では、6年間の学習内容と活用場面を別冊としてまとめることで、日常的に手に取り、実際に使えるようにしている。 ・時事的な内容（SDGs、防災など）を、題材や資料に多数取り入れ、日常場面との関連を図り自分事として捉えやすくしている。 ・基本単元で身に付けた知識・技能を生活に活かす単元として「書写広げたい」を設けている。国語科や他教科の学習につなげている。また原稿用紙の使い方や手紙の書き方など日常生活に生かせる内容を学年の発達段階に応じて設定している。 						
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手本文や活用場面など、国語科教科書との関連が深くなっている。 ・全学年とも4～6単元で構成されている。 <p>②見やすさ・使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者・保護者向けに巻末に全学年の系統性表を記載し、他学年とのつながりや当該学年での中心となる内容を明記している。 ・視覚支援として、学習場面のマーク（たいせつ、えんぴつで書こうなど）があり、全学年で用いられている。また、イラストを多用し、最小限で識別しやすい誌面（色、文字数）にしてある。 ・写真・動画のある単元には、二次元コードがある。動画は、利き手ごとに示している。 						

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【社会】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			305	405	505・506	605・606

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の初めに、前学年で学んだこと、この学年で学ぶことの内容のつながりが一目で分かるように示されている。 各時間ごとのキーワードが「ことば」として取り上げられ、説明文が付いている。 その時間ごとに、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」と学習のめあてが分かりやすく示されている。 インタビュー動画やワークシートなどがQRコンテンツとして設けられている。 <p>②思考力・判断力・表現力をはぐくむ活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「空間」「時間」「関係性」「方法」など見方・考え方が目印となるマークで示されており、学習活動の進め方がわかりやすい。 「学びのポイント」「学び方コーナー」として学習活動の内容が示されている。 「まとめる」場面では、学習問題やそれまでに出てきたキーワードが示されていたり、地図、年表など様々なまとめ方が例として記載されていたりしている。 <p>③主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習が促される創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ひろげる」場面では、学習内容をもとにした派生的な内容が取り上げられている。 <p>④我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3学年では、「はたらく人とわたしたちの暮らし」で外国と自分たちの生活とのつながりを考えることができるようになっている。 第4学年では、国際交流に積極的に取り組んでいる自治体を取り上げられ、また国旗を尊重することの大切さが記述されている。 第5、6学年では、竹島や北方領土、尖閣諸島といった領土問題について記載されている。 第6学年では、世界遺産、国宝のマークが設置されている。また、日本の世界文化遺産や世界遺産などが「ひろげる」や巻末で取り上げられ、世界や日本の遺産に関心を高めることができるようになっている。 第6学年では、広島での平和学習や記念式典の様子、平和の誓いが記載されている。 <p>⑤実生活と関連付けて、問題発見・解決能力を育成する活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsについて、映像などをもとに学ぶことができる特設サイトが設けられている。 第5学年では、巻末折込「SDGsについて考えよう」、第6学年では、「世界の未来と日本の役割」でSDGsの目標と関連付けて学習することができる。 「つかむ」場面では、考えさせたい問題とのつながり、「いかす」場面では、問題解決につながる事例など実生活と関連付けて考えやすくなっている。
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列・および分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該学年以上の配当漢字には、ふりがなが付されている。 「つかむ」や「調べる」場面では、資料が大きく掲載されている。 第5、6学年では、教科書が上下巻に分かれて、分量が調節されている。 <p>②文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> UDフォントが使用されている。 本時のめあてや学習問題が強調されている。 誰もが知るキャラクターを使い、親しみやすく感じられる。 学習のめあてがページごとに記載され、見通しがもちやすくなっている。

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【社会】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	17		発行者の略称	教出		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			307	407	507	607
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」と、各時間の学習段階が示されている。 ・問題を解決していく上で重要な言葉を文章中で太字にしていたり、「キーワード」として取り上げたりしている。 <p>②思考力・判断力・表現力をはぐくむ活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの読み取りなど、学習に応じて必要な技能が「学びのてびき」として示されている。 ・見方・考え方が、「時間」「空間」「関係」「比較」「関連」「総合」と分けて説明があり、学習内容にそくして、キャラクターのふきだしの中に太字で示されている。 ・「まとめる」の活動では、思考ツールを活用した表現活動など対話的な学習方法が多様に紹介されている。 <p>③主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習が促される創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にタブレット型端末の使い方があり、活動内容が具体的に示されている。また、QRコードが5種類用意され、目的をもって活用することができるようになっている。 ・各単元末には、「もっと知りたい」という見方・考え方を働かせて学習内容をより深めるページが設けられている。 <p>④我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土、領海などの資料を掲載し、北方領土、竹島、尖閣諸島をめぐる現状について説明されている。 ・第6学年の歴史の学習では、国宝、重文、世界遺産といったマークを使用するなど、文化財に注目しながら学ぶ視点が示されている。 ・第6学年の教科書の巻末に見開き1ページにわたって平和の誓いが掲載されている。 <p>⑤実生活と関連付けて、問題発見・解決能力を育成する活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つなげる」では、地域や社会のこれからについて考えたり、学習内容をSDGsの視点で振り返ったりして、社会的な「選択」「判断」「構想」をする場面が設けられている。 ・「まとめる」「つなげる」場面では、自分たちにできることを考える活動があり、実生活に生かすことができるようになっている。 ・第3学年では、単元の導入に使う資料が町全体を俯瞰してとらえられるように活用されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列・および分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各資料に適宜、注目してほしいポイントが示されている。 ・小単元ごとに学習問題、単位時間ごとに問いがあり、学習の展開が分かりやすくなっている。 ・「次につなげよう」という次時の学習の視点が示され、単元を通して一貫性のある学習ができるようになっている。 ・第3学年では、「わくわく！社会科ガイド」として情報の集め方、読み取り方、まとめ方が説明されている。 ・第3、4学年ではすごろく、第5学年では思考ツールなど各学年の発達段階に合わせて、まとめ方が工夫されている。 <p>②文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UDデジタル教科書体が使用されている。 ・フォントやポイントの違いで、本文と資料などを見分けやすくなっている。 ・各資料にカタカナの記号が付けられている。 ・資料は精選されており、一つ一つが大きく掲載されている。 ・白黒写真がカラー化されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種目【 社会 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	116		発行者の略称	日文		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			308	408	508	608
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に社会科の学習の進め方や教科書の使い方が具体的に示されている。 ・本文が3つの役割に分かれて、読解しやすいように示されている。 ・大切な言葉や難しい言葉がそれぞれマークで区別され、解説が示されている。 ・各ページ左下のマークにどのような力を身につける段階の学習かが示されている。 ②思考力・判断力・表現力をはぐくむ活動のための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方コーナー」があり、「空間・時間・関係」に着目して、思考することができる。 ・「学び方・調べ方コーナー」があり、学び方や調べ方だけでなく表現の仕方など学習の手助けとなる方法が示されている。 ③主体的に学習に取り組む態度を養い、補足的な学習や発展的な学習が促される創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・まとめる場面では、QRコードを読み取ることで、様々なまとめ方を活用することができる。 ・疑問や学習問題が焦点化され、学習過程が分かりやすく示されている。また「さらに考えたい問題」があり、学習内容をより深めることができる。 ④我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・第4学年では、岡山県全体の内容が取り上げられている。 ・第5学年では、択捉島、竹島、尖閣諸島について取り上げ、領有に対する抗議や主張について触れるとともに諸国の課題へと視野を広げられるようにしている。 ・第6学年では、世界がかかえる問題に対しての日本の取組について単元として位置づけられている。 ⑤ 実生活と関連付けて、問題発見・解決能力を育成する活動内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsコーナーや特設ページ、シールなどが設けられ、学習内容や現代的な諸課題についてより自分事として考えられるようにされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列・および分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学習対象についての情報や資料、追究過程が原則見開き2ページになっている。 ・全学年1冊にすることで、学習のつながりを考えた構成になっている。 ・見開き1ページで対比されている内容がある。 ② 文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや地図は、色調や色の組み合わせだけでなく、斜線やドット、黒色の境界線など正確に数値を読み取るための工夫がされている。 ・UDデジタル教科書体が使用されている。 ・資料が大きくわかりやすい。 ・私たちの問題という本時のめあてが同じ位置にくるようにレイアウトされている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地図】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称		東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			303	303	303	303
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳のきまりや使い方など基本的な内容を7ページにわたって説明をしている。 ・地形や気候、産業など多様な主題図が設けられている。 ・どの地図でも縮尺とものさしが載っており実際の距離が分かりやすくなっている。 ② 思考力・判断力・表現力をはぐくむ活動のための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・問いと作業のコーナー「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」では、地図を見ながらクイズや作業に取り組むことができるようになっている。 ③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習が促される創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン動画や白地図など多様なQRコンテンツが設けられている。 ・過去の台風の経路や自然災害など他教科との関連性のある様々な資料、主題図が取り上げられている。 ④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の伝統工芸品や名産品、偉人に関する記念館などが取り上げられている。 ・世界の民族衣装や料理、動物など多様な文化が取り上げられている。 ・捉提島や竹島など取り上げ、日本の歴史と関連させたページが設けられている。 ⑤ 実生活と関連付けて、問題発見・解決能力を育成する活動内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨が記載されるなど自然災害について詳しく載っている。 ・日本の産業や交通、都市についてまとめられており、第5学年の社会科だけでなく、昔に比べ移動がどれだけ早くなったのかを比較できるページが設けられている。 ・日本列島全体の災害地図があり、災害の起きる要因や防災対策について考察できるようになっている。 ・SDGsについて映像などをもとに学ぶことができるサイトが設けられている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列・および分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年以上の配当漢字にふりがながつけられている。 ・「日本列島を見渡す地図」「日本の地方図」「都市圏図」などというように系統的に配列されている。 ② 文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・文字が縁取りされており、読み取りやすくなっている。 ・主題図が、ページ単位で区切られている。 ・UD書体が使用されている。 ・日本や世界の山が立体的に掲載されている。 ・陸の高さや海の高さの色合いが分かりやすくなっている。 ・索引の県庁所在地が太字になっている。 ・地図上に、主な歴史の舞台や建物が青枠に白字で表記されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 社会 】種目【 地図 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	46		発行者の略称	帝国		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			304	304	304	304
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p7～16では、地図帳のきまりや使い方など基本的な内容が学べるようになってい る。 ・p17～20では、地図記号の意味や索引の使い方、縮尺について学ぶことができるようになってい る。 <p>② 思考力・判断力・表現力をはぐくむ活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トライ!」「地図マスターへの道」といったコーナーを設置し、社会科の知識や 地図帳の活用法が身につけられるようになってい る。 ・「広く見わたす地図」があることで、第3、4学年では、岡山県の場所や都道府県 の学習を進める際に使いやすくなっている <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養い、補充的な学習や発展的な学習が促される創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画やクイズなどのQRコンテンツが設けられており、またコンテンツの概略が併記 されている。 ・現在の様子と江戸時代の様子の相違のページが設けられている。 <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のあいさつが音声コンテンツとして設けられている。 ・SDGsの特設ページが設けられたり、随所にSDGsに関する資料やアイコンが設置さ れたりしている。 ・日本の領土では、地図や写真、模式図が掲載されている。また、択捉島、竹島、尖 閣諸島が日本固有の領土としてまとめて掲載されている。 ・「集まれ子どもたち」のコーナーでは、世界各国の子どもの写真や説明が掲載され ている。 <p>⑤ 実生活と関連付けて、問題発見・解決能力を育成する活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育に配慮し、手話での表し方やパラスポーツの事例などが取り上 げられている。 ・自然災害の事例や防災マップの作り方があり、防災意識を高めることができる。 ・日本の食料問題について食事のイラストを用いて食料自給率がグラフで示されてい る。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列・および分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く見わたす地図や詳しい地図、資料図など各学年の発達段階に合わせて作られて いる。また、各地図ごとに縮尺が統一され、比較しやすいようになってい る。 <p>② 文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物や工業製品などに絵記号が使用されている。 ・UD学参フォントが使用されている。 ・日本の統計では、おもな農産物や工業製品の生産について、各県の生産割合が各地 方や県ごとに色付けされており、分かりやすくなっている。 ・索引の見方や引き方を紙面やQRコードで示している。また、赤字で都道府県名や県 庁所在地、青字で歴史地名、緑字で世界遺産を表記している。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	112・113	212・213	312・313	412・413	512・513	612

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末には、学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図る「たしかめよう」を設け、理解や技能の定着をいっそう確実なものにする問題で構成している。 ・ICT活用の一環としてQRコンテンツを多く設定しており、即時的な正誤判断、結果の記録など児童が主体的に練習に取り組み、力をつけることができるようにしている。 <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活との関連を重視した場面設定や活動を取り入れ、算数の有用性を感じながら主体的に学習に取り組むことができるようにしている。単元末では「つないでいこう算数の目」を設定し、数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返ることができるようにしている。 ・主体的な学びを支えるために、既習を生かして考えることを促す「同じように考えると」、深い学びや振り返り、発展的な内容を考える「それなら」・「それなら次は?」という吹き出しを新設している。 <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元冒頭の「単元プロローグ」や単元末の「いかにしてみよう」を中心として学校や日常生活、他教科との関連を重視した場面設定や活動を取り入れている。 ・世界レベルで活躍している人々の算数とのかかわりについて語るコラム「私と算数」で、算数の身近さや有用さを感じることができるように新設されている。 <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年以上の巻末に本文の練習問題とリンクした2段階の難易度別「ほじゅうのものたい」を設け、個の習熟度に応じて取り組むことができるようにしている。 ・2学年以上の巻末に発展的な学習として、単元の学習を活用して数学の問題解決に取り組む「おもしろ問題にチャレンジ」を設定している。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年の入門期は書き込み式の中綴じA4判となっており、紙面がフラットに開くため、数字を書いたり数図ブロックを操作したりしやすくしている。 ・スパイラルに学習することを重視し、習熟・定着が求められる内容の指導の学期を分けたり、同一領域の内容が連続したりしないようにしている。 <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の前半は補助発問などを丁寧に設定し、後半にかけてはさらに資質・能力が高められるように補助発問等を段階的に減少させている。単元の途中にも学習計画を考えるような構成になっている。 ・図を動的に表現したQRコンテンツ動画を活用して、筆算の仕方や割合の意味を理解することができるようにしている。
----------------------------	---

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	4		発行者の略称	大日本		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	114・115	214	314	414	514	614
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元こわたって設定している。 単元末には「たしかめ問題」のページが設けられている。QRコンテンツを活用してさらに練習問題にも取り組むことができるようにしている。習熟度の高い児童には「チャレンジ!」の問題をデジタルコンテンツに掲載している。 <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 考え方に焦点をあてたまとめ「発見!考え方」や「ひらめきアイテム」を設定し、見方・考え方を働かせながら学習を進めることができるようにしている。 重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と位置づけ、そこでは多様な解決方法を比較検討して話し合う活動などが例示されている。また、シミュレーションのデジタルコンテンツを活用して容易に試行錯誤しながら考えることができるようにしている。 <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学年以上にある「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数が社会で生かされている事例や算数を生かして生活している人のインタビューを取り上げている。また、QRコンテンツから、それらに関する動画も視聴できるようにしている。 学習したことを家庭や地域での生活こわすよう促すために「おうちでさんすう」を設定している。また、それらに関する保護者向けのサポートページも設けている。 <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末の「たしかめ問題」では、「しっかりチェック(基本)」「学んだことを生かそう(発展)」「チャレンジ(発展学習用デジタルコンテンツ)」を設け、個こ応じた指導や自己評価こ活用できるようにしている。 QRコンテンツを設け、繰り返し取り組むことができる。単元末のページにある「かくしゅうサポート」では、その単元を動画で振り返ることができるようにしている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階こ合った学習を展開するための各単元こおける配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学初期の学習内容はA4半の薄い分冊こなっており、フラットに開くことができるためブロックを置く活動こがしやすく、書き込みをするマスも大きい。 演算決定などに使う図は、6年間を通して系統的こ扱い、徐々に使いこなすことができるように配慮している。 <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学年以上は年間1冊としており、既習事項のふりかえりができるようにしている。 学習のつながりが分かるように、紙面を内容別に色分けしたりインデックスを記載したりしている。自分の考えを持つため、解決方法が見えないように右ページから最初の問題が始まっている。また、1時間の区切りの目安を示す砂時計も掲載されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	1 1	発行者の略称			学図	
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
		116・117	216・217	316・317	416・417	516・517
観 点 別 の 特 徴	(1) 内容の特徴・表現					
	① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「できるようになったこと」では、その単元の基礎的・基本的な内容を、「まなびをいかそう」では、活用的な問題に取り組むことができるようにしている。 ・特に児童が間違えやすい内容や苦手な内容は「算数パトロール」のページで間違い例を示すとともに、気をつけるべき注意点を示すことで、学びをふり返りながら、どんなことに気をつければよいか分かるようになっている。 					
	② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方を例示したり、ブロックや図、表、言葉を使った説明などの活動を取り入れたりすることで思考力や様々な表現力を育むことができるように配慮している。 ・「考え方モンスター」というキャラクターにより、学習で使った見方・考え方を具現化できるようにしている。また、下巻巻末でその学年で見つけた見方・考え方をまとめるページを、上巻巻頭では前学年で見つけた見方・考え方を領域ごとにまとめたページを設定している。 					
	③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「算数をつかって」のページを特設し、SDGsを基本としたさまざまな課題に取り組むことができるようにしている。 ・単元全体を振り返ることによって生じる新たな問いを「つなげたいな」として提示し、学びの連続性が感じられるようにしている。 					
④ 児童の学習意欲を喚起し、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元で学習した内容を統合的・発展的に見直し、学びを深める「ふりかえろうつなげよう」のページを設けている。 ・巻末に「まじゅう問題」を設定し、補足的・発展的な問題に取り組むことができるようにしている。 						
(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等						
① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・国語科との関連を考慮し、1学年の入門期は文字を使わずに活動するページを設けている。 ・6学年では、小学校で学びを「見方・考え方」をもとにまとめた「中学校へのかみ橋」を別冊にし、中学校でも活用できるようにしている。 						
② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・単元導入では、イラストや写真、「?をはっけん」などキャラクターとともに身の回りの生活の中から問題を発見し、単元末「?をかみ橋」へ主体的・対話的に学習を進めていく構成となっている。 ・目次や単元名が学期ごとに色分けされている。 						

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称	教出			
学年別の教科書番号	1年 118	2年 218・219	3年 318・319	4年 418・419	5年 518	6年 618

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びのマップ」に既習事項が系統的にまとめられ、学年を超えて既習事項を振り返ることができる工夫がされている。また、つまずきやすい作図技能が動画で説明されている。 ・課題が見られる内容には「考えるヒント」を設け、つまずきやすいポイントを意識化できるようにしている。 <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元導入の「きっかけ」のページで、子どもの身近な経験とつなげることで、自分事として目的意識をもって学ぶことができる構成としている。 ・子どもの「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」という問いの連続により数学的活動を進められる工夫がされている。 <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの活用問題として「学んだことを使おう」を設け、身の周りから算数を見つけたり、算数を使って日常の問題を解決したりするように設定している。また、学年末には「算数をつかって考えよう」を設けて、算数の学習と日常の場面をつなげている。 ・数学的な見方・考え方を顕在化し、活用できるように「つながるミカタ」「つながるミカタプラス」を設定している。 <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年以上の巻末の練習問題「ステップアップ算数」は、難易度別に2段階に分かれており、習熟度に応じて練習問題の量を調節できるようにしている。 ・4学年以降の巻末の「広がる算数」では、算数の学習と現実世界とをつなげる探究的な教材を掲載している。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年の入門期は、就学前の体験や生活科等との関連を図り、スタートカリキュラムとして扱えるようにしている。 ・系統性や習熟のための期間などを考慮し、最適な学習効果が得られる単元配列になっている。 <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年と5・6学年は、年間1冊で構成されている。 ・巻頭ご算数で使いたい見方・考え方を示した「算数のミカタ」が示されている。単元導入では身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識を持って学びを進めていくことができるようにしている。
----------------------------	---

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	61		発行者の略称	啓林館		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	120・121	220・221	320・321	420・421	520	620
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元、既習事項や身のまわりの事柄から新しい学習に入っていくようになっている。ほぼすべての単元にレディネスチェックのQRコンテンツもあり、児童が個に応じてヒントを見たり解答を確認したりすることができるようにしている。 反復による定着が必要な単元には「練習」ページを設定している。各学期の途中と期末にあたる時期に「復習」が設定され、年間を通して基礎・基本の定着が図れるように配慮されている。 <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「とびらのページ」「じゅんぴ」で既習事項の定着を図るとともに、学んだことを踏まえて児童自らが数学的な見方・考え方を働かせ、解決の見通しを立てたり、筋道を考えたりすることができるような構成となっている。 図や表を使って考えたり、説明したりする活動を主とした特設単元を系統的に位置づけて協働的な学習の活性化と思考力や表現力の育成を図れるようにしている。 <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学年以上にプログラミング的思考を育むとともに、算数の理解を深めるための「わくわくプログラミング」を設定している。 「わくわくSDGs」「みらいへのとびら」など学びを生かし、算数を学ぶ意義を感じられる題材を取り扱っている。 <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒント・答えが確認できる練習問題コンテンツや「よくあるまちがい」を確認するコンテンツ、動画解説のコンテンツなどを用意し、児童の習熟度に応じて個別で学びを進められるようにしている。 巻末「学びのサポート」に教材が用意されている。「じゅんぴ」でレディネスチェックを行うことができる。「もっと練習」で基本の補充問題と少しレベルの高い挑戦問題に取り組み、習熟度や個に応じて選択して学習が進められるように配慮されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学年の入門期には、A4判・中綴じ版の別冊になっており、書き込みやブロックの操作がしやすいようにしている。 学びのつながりを重視した、スパイラルの構成になっている。類似内容を複数の単元に分け、習熟の時間が確保できるようにしたり、低学年では興味の特長性を考慮して同一領域の内容が連続しないようにしたりしている。 <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭「算数でつかいたい考えのすすめかた」では、前学年で学んだ数学的な見方・考え方を整理し、振り返ることができるようにしている。 学習端末を活用しながら、対話による深い学びや個別最適な学びができるように単元が構成されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	116		発行者の略称	日文		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	122・123	222・223	322・323	422・423	522	622
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元前には「次の学習のために」、単元末には「学習をたしかめ」、学期ごとの「復習」などを通して、大切な学習内容を繰り返し復習できるように構成されている。 ・単元末に「まちがいをやめよう」を設け、つまづきやすい内容をもう一度振り返り、知識・技能が確実に定着するようにしている。 <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分で みんなで」では、問題解決型の学習過程を「めあて」から「まとめ」へと学習の流れの見通しを持てるように配置し、主体的な学びの実現を目指している。 ・「めあて」の近くには、見通しを立てたり、筋道を立てて考えたりするための着眼点を「見方・考え方」として配置し、数学的な見方・考え方を働かせることを意識しながら学びを深められるようにしている。 <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを日常生活と結び付ける「つかってみよう」や「算数ジャンプ」を設定している。 ・プログラミング的思考を養うために全学年に「レッツ プログラミング」を設定している。 <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年以降の巻末の「算数マイトライ」では、基礎的な問題を難易度別に並列した「しっかりチェック」、応用的・発展的な問題の「ぐっとチャレンジ」、探究的な問題の「もっとジャンプ」の3コースを設けている。 ・QRコードから、教科書で学習した練習問題と同じ型の計算問題ドリルに取り組むことができるようになっている。採点機能がついているため、自分で理解度を図ることもできるようしている。 					
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学直後に使用する分冊は中綴じてフラットに開くため、書き込みやブロック操作がしやすいようにしている。 ・高学年では、小・中学校間の円滑な接続を目指して、特に必要と思われる単元には中学接続マークをつけ、スパイラルに学習する意識を持つことができるようにしている。 <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次の単元番号や見開きページの右上部分に記載された単元名には学習内容ごとに色がついている。 ・1学年の分冊にはデジタルコンテンツもあり、絵本の朗読とスライドショーで見られるように、文字を学習する前でも使用できるようになっている。5学年と6学年は年間1冊となっている。しおりがついているので、学習ページをすぐに見つけることができるようにしている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			307	407	507	607
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験などを行い問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の流れを線で結んだものを「学びのライン」として全単元で示し、問題解決の流れを分かりやすく表している。 ・ 導入や予想の場面では、児童の対話や予想を意識した発言例を多く示すことで、「理科の見方・考え方」を働かせて学習できるようにしている。 <p>②児童の知的好奇心を高め、学んだ知識と実生活へのつながりを実感できるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元の導入では、児童が不思議に思ったり、興味をもったりできるような大判で美しい写真やイラストが用いられ、知的好奇心を高める工夫がなされている。 ・ 各単元末に日常との関連を実感できる工夫がされている。 <p>③補充的な学習や発展的な学習が行え、主体的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画や写真のQRコンテンツで児童のつまずきや解決を助け、思考を促すシミュレーションなどのコンテンツで児童が主体的に学ぶことができるようにしている。 <p>④観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全への配慮が必要な場面では、「きけん」マークをつけたり、文字の色を変えたりして、注意を促している。 ・ 各学年のSDGsの目標と単元のつながりを示し、自然環境への配慮を意識できるようにしている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間で10時間程度の余裕をもてるよう、単元配列や観察・実験の方法などを工夫し、体験活動や発展的・補充的な学習の時間を確保できるようにしている。 <p>②見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決のステップを大きく横に一段組みにし、問題解決の区切りを分かりやすく表している。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称		大日本		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			308	408	508	608
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験などを行い問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の学び方」に沿って、全単元学びの流れが構成されており、児童が見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・問題解決の過程の「問題を見つける」「考察」の際の手助けとなる内容を示した「ココに注目」が各単元に設けられており、教科書を使って問題解決学習を進めることができる。 <p>②児童の知的好奇心を高め、学んだ知識と実生活へのつながりを実感できるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」などを通して、学んだことを自然の事物・現象や日常生活につなげて考えることで児童の知的好奇心を高めている。 <p>③補充的な学習や発展的な学習が行え、主体的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主たる活動の後に行う「深めよう」では、学習が更に深まるような実験の紹介を行ったり、資料では発展的な内容を扱ったりして、理科への興味を広げていく工夫がなされている。 <p>④観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に実験を行う上での注意を、文字の色を変えたり枠で囲ったりして見やすくしている。 ・SDGs・防災など現代的な課題に対応した記述が多数用意されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「〇年のまとめ」で既習事項を振り返りながら、「〇年生になったら」で上学年へ意識をつなぐ工夫がされている。 <p>②見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れがつかみやすいようページ左側に「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」で色分けしたラインが引いてあり、分かりやすい。 ・二次元コードが基本的にページ下部の同じ位置に配置されており、デジタルコンテンツとの融合が図られている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	1 1	発行者の略称			学 区	
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
			3 0 9	4 0 9	5 0 9	6 0 9
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験などを行い、問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭に領域ごとに働かせるとよい「理科の見方・考え方」が具体的に示されており、同じ領域の別の単元でも生かすことを意図した構成になっている。 <p>②児童の知的好奇心を高め、学んだ知識と実生活へのつながりを実感できるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びを生かし深める活動には、「活用」マークが掲載されており、生活や別の場面に置き換えて考えることができるよう配慮されている。 <p>③補充的な学習や発展的な学習が行え、主体的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっとしりたい」の中に学習した内容についての発展的な知識を紹介してあったり、巻末の「考えよう調べよう」において学びの流れや視点、記録や調べる方法などを具体的に示してあったりし、自らの疑問について解決できるようになっている。 ・QRコードでのコンテンツが充実している。授業時間外でも積極的に活用できるようになっている。 <p>④観察実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・！マーク「注意」と、共通したキャラクターで安全面への配慮事項が目立つようになっている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の観察・実験に使用する植物について「栽培カレンダー」が掲載されている。 ・季節を考えて前半に屋外観察、後半に実験が重視されている構成になっている。 <p>②見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に一覧で掲載された目次に、SDGsの項目が関連付けされており科学的な視点で考えられるようになっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	17		発行者の略称		教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			310	410	510	610
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験などを行い、問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」と「学習の進め方」が設けられ、問題解決学習の流れを意識し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮されている。 <p>②児童の知的好奇心を高め、学んだ知識と実生活へのつながりを実感できるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入では、身近な自然現象を取り上げ、実生活と重ね合わせながら考えたいくなるような場面が大きな写真とともに設けられている。 単元末の「たしかめよう」では、実生活における学習内容と関連のある内容が掲載されている。QRコードで動画視聴ができる設定になっている場面もあり、理科の学習への興味関心を高められるように工夫されている。 <p>③補充的な学習や発展的な学習が行え、主体的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「科学のまど」「資料」「チャレンジ」「ふりかえろう」には、単元を通して学習したことが整理されている。学習前と学習後の自分の考えを振り返ることができるように工夫されている。 <p>④観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険を伴う活動は同じ内容でも関係のあるページで表示している。裏表紙には、各学年の学習内容に応じた「理科の安全の手引き」が掲載されており、必要事項をすぐに確認しやすい仕組みになっている。 各単元における自然事象のトピックには、SDGsのマークが掲載されており、学習内容をSDGsの観点からも考えることができるように工夫されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の見出しのページに「学習のつながり」を示している。また、学習内容によっては中学校の学習とのつながりも示され、幅広く系統性を意識できるように工夫されている。 <p>②見出しや写真、イラスト、レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場する教師や児童の吹き出しが多く、親しみやすく感じられる工夫がされている。特に大切な内容には赤色でカギのマークと網かけがしてある。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	1 7	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	1 2 3	1 2 4				
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよき、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」や「ヒント」、巻末の「学びのポケット」には必要な習慣や技能、学び方が具体的に紹介されている。 ・単元の終末に「野さいのそだて方」「生きもののそだて方」等が載っており、生活の中で生かせる知識や技能を習得できるようにしている。 <p>②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はっけんまとめいろ」「かんがえまとめいろ」により、考えを深める視点を与え活動がより広がるきっかけを作っている。 ・ICT機器活用場面が、イラストや写真で具体的に紹介してあり、思考を深める場面、表現する場面で、自分の思いや内容に応じて生かせるようにしてある。 <p>③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の動機づけ、主体的な活動につなげる「わくわくスイッチ」が設けられている。 ・単元の終末では、自己評価をする欄や発想を広げられるような（「もしも」の）ページが設けられている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①地域や学校、児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開されるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの単元も、導入「わくわくスケッチ」で動機付け、「はっけんロード」と「はてな」で、自ら活動を組み立て、「ぐんぐんはしご」で振り返って、自分の成長を自覚することができるような構成になっている。 ・他教科の見方・考え方との関連を示し、活動する際に意識しやすくしている。 <p>②文字の大きさ、書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ページの左上部に、各単元で特に児童に育成したい力がサイコロ型で示されている。 ・見開きの右端に、「ヒント」、「やくそく」などの大切な情報が掲載されていて、同じような紙面構成になっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【音楽】種目【音楽】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	103	203	303	403	503	603
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」としてページ右上に示し、教材や活動に関連するものを見開きごとに明記して、児童がその働きを意識しながら学ぶことができるよう配慮されている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入については、各8ページが割かれ、細やかなステップアップで扱われているほか、新出音も段階を追って緩やかに扱われ、発達段階に即した技能の定着に配慮されている。 <p>②知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに学習のねらいと学び方を示唆する「まなびナビ」が示されるとともに、題材ごとの見通しも示され、児童が見通しをもって主体的に学んだり、学習を深めたりできるよう配慮されている。 ・紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシートなどのデジタルコンテンツ（まなびリンク）の活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにできるよう工夫されている。 ・現代の児童の生活や心情に即した教材を取り上げたり、写真・学習に関連したWEB上の資料を効果的に用いたりして、児童の主体的な学びを引き出すよう配慮されている。また、随所に教科横断的扱いができるような教材が配置されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容を系統的に構成し、学習を効果的に進めるための配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要部分の教材と選択可能なオプション部分の教材を組み合わせることにより、各学校の実態やカリキュラムに柔軟に対応できるように配慮されている。 ・中学校で学ぶ内容を発展的に扱った箇所では、マークでその旨が示されているほか、高学年で雅楽や日本の作曲家の歌曲作品など、中学校で学ぶ内容が導入的に扱われている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【音楽】種目【音楽】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	27		発行者の略称	教芸		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	104	204	304	404	504	604
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>①基礎基本の確実な定着を図るための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって学習に取り組むことができるように「何を目標に」「どのような活動を通して」「何を学ぶのか」が一目でわかるように示されている。また、児童が学習のめあてをつかみやすいようなアイコンも示されている。 新しく学習する音符や休符、記号などが「がくふマスター」として掲載されており、音符や休符はなぞったり書き込んだりすることができるようになっている。 各教材で学習する[共通事項]に示された、音楽を形づくっている要素が各教材ページ端に示されている。また、巻末には「ふりかえりのページ」がまとめられており、学習を振り返ることができるように工夫されている。 <p>②知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の作品例やワークシート例のほか、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されるなど、児童が表現に対して思いや意図をもったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。 「個別最適な学び」を進めたり「協働的な学び」を深めたりすることができるよう、学習に役立つ歌唱、器楽教材のMIDI音源、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートする二次元コードが示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>①内容を系統的に構成し、学習を効果的に進めるための配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年の系統は題材と教材の扱いによって構成され、題材ごとに、教材、活動、程度などが柔軟に選択できるように弾力的に組織されており、学習指導計画の作成に当たり、各学校や児童の実態に対応できるよう適切に配慮されている。 題材のねらいに沿って、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランスよく配置されているため、さまざまな学習を通して楽しみながら音楽の学習内容を身に付けることができるようになっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

1 研究委員氏名



2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			306		506	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップ1では、自分の健康課題に気付いたり、見つけたりできるように資料や記入欄が充実している。 <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの学習過程ごとに、記入欄が設けられ、自分が考えたことを記入できるようにしている。 <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真では、固定的なイメージで性の区別をしないように、男女の比率や役割に偏りがないようにしている。 ・課題解決のための資料が比較できるような形式で示されている。 <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課題を「自分ごと」として捉えるために、各項をステップ1～4の学習活動で構成し、それぞれのステップの活動が工夫されている。 <p>⑤ 補足的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連した情報を「資料」として各項末に掲載している。また、各章での学習内容とSDGsの目標との関連を取り上げている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学年の保健の内容や他教科の内容の関連を記号で示している。 <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように、基本的に1項目を1単位時間4項目で構成している。 <p>③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを用いたり、紙面の色数を限定したりして、落ち着いたレイアウトになっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称	大日本			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			307		507	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学習項目の初めに「つかもう」を設け、児童に身近な題材を設定している。 「つかもう」以降を折り込みでかくすことで、課題を自分事として捉えられ、主体的に学習に取り組むことができるようにしている。 <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小単元に「活かそう」を設定して、実践することができるような工夫がある。 <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の参考になる写真やイラストが示されている。 <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自らの課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話し合おう」「調べよう」や教科書の資料をもとに「考えよう」で自らの考えを書き込むことができる構成となっている。 <p>⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 「もっと知りたい！」では、学習内容に関する資料が掲載されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3学年では「身近な生活行動と健康」、第4学年では「体の成長」、第5学年では「心の健康」、第6学年では「病気の起こり方」と系統的な単元構成となっている。 「はってん」として、中学校の保健体育へつながる内容を提示している。 <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容と関連する学年の内容を示し、系統性のある指導ができるように工夫されている。 <p>③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 針などの使用がなく安全であり、奥までよく開くことができる製本となっている。 ユニバーサルデザインフォントを使用している。配当学年に合わせた漢字とルビを使用している。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	50	発行者の略称	大修館			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				308		508
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の導入「課題をつかもう」で身近な話題を提示し、学習課題を「きょうの課題」として捉え、見通しをもって学習を進めることができる工夫がされている。 ② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生活や行動に活用できるように、記述式のまとめ欄を設けている。 ③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の扉に著名な日本人の写真を設定し、対話形式で単元の重要な内容に触れているため、児童が興味をもって学習を始めることができるように工夫されている。 ・11種類のマークを随所に設定しており、児童の興味・関心に応じて意欲的に調べることができるように工夫されている。 ④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題を把握し、その課題を解決するための資料の量や学習の流れが工夫されている。 ⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習内容をウェブクイズで即時確認できるため、児童自ら理解度を確認でき、家庭での自主的な学習につながるよう工夫されている。 ・他学年・他教科の学習内容との関連を示すマークを掲載することにより、教科横断的な学習となるように工夫している。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・扉の見開きを、3・4年生は生活する街、5・6年生はニュースや身の回りの事柄から学習内容を想起させることにより、視野が広がるよう工夫されている。 ② 内容の配列・構成などの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間の内容が見開きで構成されており、時期を問わず指導を行うことができる。 ③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・筆記特性（書きやすさ）に優れた用紙を使用していることで、児童が主体的に考えを表現できるように配慮されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	208		発行者の略称	光文		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				310		510
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の導入「みつけよう」で身近な話題を提示し、学習課題を「学習の課題」として学習対象として捉え、見通しをもって学習を進めることができる工夫がされている。 <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りができるよう、まとめの段階で「生かそう」の記述欄が設けられている。 <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の紹介に4コマ漫画を掲載している。 ・巻頭ページに、日本の著名人の写真とコメントを掲載している。 <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めに自分の生活経験を振り返る「見つけよう」を設けることで、問題意識を高めてから学習を展開するようにし、児童一人ひとりが自分に合った課題をもち、主体的に学習できるように配慮している。 <p>⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家の人」とのコミュニケーションを図る内容を各学年に掲載しており、家庭で自主的な学習を促すように工夫されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3・4年生」の最初の単元は挿絵を大きく、情報量を少なめにし、記入欄を広くとり、書きやすい工夫がされている。 ・目次に、「3・4年生」では「5・6年生」の内容を紹介し、系統的な見通しを示している。 <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年「病気の予防」において、章扉を2箇所を設定して小単位とすることで、構成が分かりやすくなるよう工夫されている。 <p>③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間を見開きで学習できる造本構成であり精選された内容で分量を絞ってある。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	2 2 4		発行者の略称	学研		
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
			3 1 1		5 1 1	

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活にある課題などについて、自分で振り返ったり調べたりする活動を各単元の導入に設けている。 <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や体ほぐしの運動、呼吸法、けがの手当てなどの実習をとり上げている。 <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の参考になる写真やイラストが示されている。 <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自らの課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方がどの単元も「学習の課題→1→2→3」で構成されており、主体的、協働的に学ぶことができる工夫がされている。 <p>⑤ 補充的、発展的、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい・調べたい」では、発展的な資料を掲載しており、学習したことを広げたり、深めたりすることができる工夫がされている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元のはじめに、「つなぐ」が設けられ、学習内容に関連する教科名や学年が示されている。 <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導要領の配列に合わせた内容となっている。 ・一単位時間4ページが基本構成となっている。 <p>③ 分量や文字、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針などの使用がなく安全であり、奥までよく開くことができる製本となっている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。配当学年に合わせた漢字とルビを使用している。
----------------------------	--

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称		東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					509	609
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前や単語、文の書き方が1ページにまとめてあり、基礎を振り返りながら学習を進めることができる。 ・各単元に書く活動が設定されている。なぞり書きから4線、単語から文章へと段階的に学習することができる。 <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話を続ける表現例や発表の表現例が記載されている。 ・デジタルコンテンツにモデル映像や会話練習映像があり、画面を見たり聞いたりしながら対話の練習をすることができる。 <p>③ 児童が主体的・意欲的に学習に取り組めるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊「My Picture Dictionary」には、ジャンル別に語句や例文が記載されているため、児童が使いたい単語をすぐに調べて書き写すことができる。 <p style="padding-left: 20px;">(2年間で一冊)</p> <p>④ 情報活用能力や問題解決能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞いてから書く」、「読んでから話す」のように5領域を組み合わせた活動がある。 <p>⑤ 日本や外国の伝統・文化や国際社会へ理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化を学ぶための映像資料や写真が多数ある。 ・絶滅危惧種や地球温暖化など、今日的な課題を取り上げている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く、話す、読むの各活動が定位置に配置されているため、児童が学習の見通しをもちやすい。 <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル字が左利きの児童でも見えるように工夫されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	9		発行者の略称	開隆堂		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					511	611
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声から文字への学習が円滑に進むよう、単元の始めは音声を聞く活動を中心とし、後半は音声で慣れ親しんだ英語を文字と結び付ける活動 (Let's Listen and Read) が設定されている。 ・書く活動にスムーズに取り組めるよう、文頭がグレーで印刷されていたり、例文が掲載されていたりする。 <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書下部に「Small Talk」の題材及び言語材料の例が示されている。 <p>③ 児童が主体的・意欲的に学習に取り組めるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組むことができるよう、もくじページや各単元の冒頭の見開きページに、単元の「GOAL」やそれを達成するための活動が示されている。 <p>④ 情報活用能力や問題解決能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードから教科書の音声を聞いたり映像を見たりすることができるので、学校以外の場所での学習に活用することができる。 <p>⑤ 日本や外国の伝統・文化や国際社会への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「Around the World」で、各単元の言語材料を用いて海外の文化や生活様式などを映像で紹介している。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の学習の流れを分かりやすくするため、すべての単元が8時間配当となっている。 ・各単元と関連する他教科名が示されている。 <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回の「Let's Check」でペーパーテストとパフォーマンステストを実施し、総括的な評価をすることができる。 ・言語材料をまとめた「Word Book」が各学年に別冊で付いている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	1 5		発行者の略称	三省堂		
学年別の教科書番号	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
					5 1 3	6 1 3
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「HOP」でUnitの学習を見通し、「STEP」で語句や表現を学習し、「JUMP」で今までに学習した表現や語句にもう一度立ち返り、それらを使って自分のことを表現することで定着を図ることができるようになっている。 ・「Fun Box」では、音声で十分慣れ親しんだ語句を読んだり書いたりしながら、少しずつ丁寧に文字を学習することができるようになっている。 <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く→話す→読む→書くの順に学習が進むようになっている。 ・自分のことを伝える課題から始まり、地域のこと、将来の夢など少しずつ視点が広がるような話題に移行している。 <p>③ 児童が主体的・意欲的に学習に取り組めるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊のワードリストがあり、児童が自分の使いたい内容によって自由に調べることができるようになっている。 ・他教科で得た知識や情報を生かせるようになっている。 <p>④ 情報活用能力や問題解決能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を使って調べ、発表する活動に適した課題が盛り込まれている。 ・QRコードから音声を聞いたりモデル動画を見たりすることができ、話す・聞く活動に自主的に取り組むことができる。 <p>⑤ 日本や外国の伝統文化や国際社会への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の食べ物やまちづくりなど充実したコラムページがあり、児童が国際社会に興味をもちながら理解を深められるようになっている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書下段に「Sounds Chant」や「Word Chant」等が配置されており、別冊「My Dictionary」の関連するページが示されている。 <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にローマ字表、切り離しカード、言語活動用カードがついている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	17		発行者の略称	教出		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					515	615
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の始めは音声を聞くとところから始まり、学習が進むにつれて話す→読む→書くへと移ることで、児童が無理なく学習できるようになっている。 ・「Sounds and Letters」のページでは日本語と英語の音声の違いに着目したり、文字を書いたりできるようになっており、音声から文字への転換が意識できるように工夫されている。 <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことから地域、日本、世界へと視点が少しずつ広がるようになっている。 ・話す内容やコミュニケーションについて気づきや思考を促す「Think」コーナーやよりよい言語活動にするための反応例を記載している。 <p>③ 児童が主体的・意欲的に学習に取り組めるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「名所・名物マップ」や「ピザづくりのシール」など児童の意欲が高まり、やってみたいと思うような仕掛けがある。 <p>④ 情報活用能力や問題解決能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル版ワークシートがあり、一人一台端末を使いやすい。 ・QRコードを使うと自主学習ができる。 <p>⑤ 日本や外国の伝統文化や国際社会への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外に暮らす同世代の声や学校生活などを素材として盛り込んだコーナーがあり、海外生活を身近に感じたり、理解を深めたりすることができる。 ・SDGsに関連した話題に対応したイラストを配置し、国際的な話題にも触れることができるようになっている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に各lessonでどんなことをするかが記載してあり、見通しをもって学習できるようになっている。 <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く時のアルファベットに近いフォントで、4線の幅の比率も配慮されている。 ・ローマ字表、カード、ワークシート、ミニブック等の教材が多くついている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	38		発行者の略称	光村		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					516	616
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Step」は聞く活動から始まり、チャンツで口を慣らし、徐々に話す活動や書く活動に移行するようになっている。 <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめ」の言語活動が各学年で3箇所ずつ設定されており、それまでのUnitで学んできた表現を使った言語活動を通して、児童のパフォーマンスの力を見取ることができる。 <p>③ 児童が主体的・意欲的に学習に取り組めるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組むことができるよう、「学年の目標」や、単元ごとの「GOAL」「重点領域」が明示されている。 <p>④ 情報活用能力や問題解決能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を高めたり、家庭等での学習に活用したりすることができるよう、QRコードを読み取ることで、音声や映像の他、言語活動のモデル映像を視聴することができる。 ・ICT機器を授業に生かした小学校の例を紹介している。 <p>⑤ 日本や外国の伝統・文化や国際社会への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な文化や価値観に触れられるよう、「世界の友達」のページでは、5・6年生の2冊の合計で12か国の生活の様子がまとめられている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UnitはHop!→Step 1→Step 2→Jump!で構成されており、すべてのUnitが7時間に統一されている。 <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵辞典「Picture Dictionary」が巻末に別冊として挟み込まれており、必要に応じて取り外して使用することができる。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	61		発行者の略称	啓林館		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					517	617
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップの各学習段階にそって、本時の学習に関する的確なアドバイスがついている。 <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのチャンツの活動では、文中のアクセントをつけるところに赤いマークがついている。 ・吹き出しのセリフを聞き、映像に合わせて言うことで、話すことと聞くことが同時に練習できる。 <p>③ 児童が主体的・意欲的に学習に取り組めるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの読み書きの練習では、QRコードで書き順や発音の動画を見ることができ、4線には書き始めの始点が表示されている。 ・3回の「Review」では、習得した表現を用いて自分の考えを海外に向けて発信する活動があり、学習への動機づけとなっている。 <p>④ 情報活用能力や問題解決能力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で書かれた掲示板やポスター、パンフレットなどを読み解くことにより、実生活に応用できる力が身に付く活動になっている。 <p>⑤ 日本や外国の伝統・文化や国際社会への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Did you know?」では外国の文化や習慣などを、「Did you know?プラス」ではSDGsの取り組みが写真と文で紹介されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元10ページ(part 1～part 3)で、8単元と3つの「Review」で構成されている。 ・QRコードが各活動に配置され、それぞれリンクが設定されている。 <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にWord List、ヘボン式ローマ字表、Can-Do List、絵カード（ミシン目あり）の付録がある。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称			東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	112	212	312	412	512	612	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名のそばに、道徳的価値に係る短い言葉が発達段階に合わせた表現で付されている。 ・4つの内容項目がマークと色で分けられており、教材のページに反映されている。 ② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「考えるためのツール」では、自分の考えを可視化するためのツールとして取り外しできる心情円が準備されている。 ・「どんな学びをするのかな」では、友達と協同的に学びを深めていく過程を示し、子供が主体的・協同的学びを実現できるようにしている。 ・教材末に、自分の経験や感じ方を振り返る問い等が示されている。 ③ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、学期の終わり等に活用する学習の記録ページが設けられている。 ・「つながる・広がる」のコーナーでは、他教科や普段の生活の中での関連が示されている。 ・学びを広げるツールとして、デジタルコンテンツがすべての教材に用意されている。 ④ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「演じて考えよう」「問題を見つけて考えよう」と多様な学習方法のやり方が紹介されている。 ⑤ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に係る教材が6題示されている。 ・現代的な課題として、「国際理解・国際親善」に係る教材が8題示されている。 ・現代的な課題として、「情報モラル」に係る教材が6題示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全35（第1学年は34）教材示されている。 ・最後のページに教材一覧表があり、他教科との関連やテーマがまとめられている。 ・5つのユニット（安心・安全、いじめ、情報モラル、いのち、じぶん）に重点がおかれている。 						

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	38		発行者の略称	光村		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	114	214	314	414	514	614
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上では、第1教材の中で道徳科で何を学んでいくのかを意識できるようにしている。 ・教材名のそばに、道徳的価値に係る短い言葉が発達段階に合わせた表現で示されている。 ② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名のそばに、これまでの自分の経験や普段の生活の様子を尋ねる問い等が示されている。 ・教材末の「考えよう・話し合おう」では、学びのめあてを明記し、主題について考えを深める問いや、発展的に考える問いが示されている。 ・第2教材では、教材に沿って道徳の学び方が示され、教材との対話、他者との対話、自分との対話が意識できるように示されている。 ③ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学びを広げるツールとして、デジタルコンテンツが全ての教材に用意されている。 ・教材末の「つなげよう」では、他教科や生活に関連して考えることができる問いや関連書籍の紹介がされている。 ・家の人と話し合っしてほしい教材には、マークが示されている。 ・巻末に、シールや記述で学びを記録するカードが用意されている。 ④ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習活動で児童の学びを深める「考えるヒント」として、気持ちを表す言葉の紹介、役割演技の提案や、児童の思考を広げ深めるデジタルコンテンツが用意されている。 ⑤ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に係る教材が6題示されている。 ・現代的な課題として、「国際理解・国際親善」に係る教材が6題示されている。 ・現代的な課題として、「情報モラル」に係る教材が6題示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上は、第1教材を「道徳がはじまるよ」とし、読みもの教材は34教材となっている。 ・4つのユニット（いじめを許さない心、自然とともに、情報と向き合う、共に生きる）に重点をおいている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称			日文	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	115・116	215・216	315・316	415・416	515・516	615・616
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名のそばに、内容項目のキーワード、導入の発問例、リード文、主な登場人物が示されている。 ・4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。 ② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材末に、教材のねらいに迫る中心発問例と、学んだことを生かして自分の考えを深めるための発問例が示されている。 ・「道徳の学び方」では、話し合いを通じて自分の見方を広げたり、深めたりすることが紹介されている。 ③ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材と関連づけた内容や活動を例示したコラム「心のベンチ」が全学年に設けられている。 ・学びの様子を継続的に記述する別冊の「道徳ノート」が準備されている。 ・全ての教材と一部のコラムに、児童の教材理解を助け、学ぶ意欲を高めるデジタルコンテンツが用意されている。 ④ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「ぐっと深める」では、友達と話し合ったり、役を演じたりすることで考えを深める活動等が写真付きで示されている。 ⑤ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に係る教材が13題示されている。 ・現代的な課題として、「国際理解・国際親善」に係る教材が13題示されている。 ・現代的な課題として、「情報モラル」に係る教材が11題示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全35（第1学年は34）教材と付録の資料、付属の「道徳ノート」で構成されている。 ・いじめ防止のための「人との関わり」ユニットが年3回設定されている。 ・別冊「道徳ノート」では、教科書の教材ごとに1ページで構成され、学校の実態に合わせ自由に記入できるようになっている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	208		発行者の略称	光文		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	117	217	317	417	517	617
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名のそばに、内容項目のキーワード、導入の発問例、主な登場人物が示されている。 ・教材の本文の下欄に、語句の解説がされている。 ② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・各教材の冒頭に「導入」、末尾に「考えよう(展開)」「まとめよう(終末)」「ひろげよう(発展)」を設置し、それぞれ考えを深めるための問いが示されている。 ・「道徳の時間は、こんな時間です」では、友達の意見から自分の考えを広げたり、深めたりすることが紹介されている。 ・巻頭にある「いろいろなやり方で考えてみよう」では、思考ツールの例などが示されている。 ③ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学びの足あと」では、感想と心の矢印で授業の記録を残すことができる。 ・学びを広げるツールとして、デジタルコンテンツが各学年10程度用意されている。 ④ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・コラム「みんなでやってみよう!」では、友達と関係を築くための体験的な活動が示されている。 ・コラム「へこんでも立ち直る」では、レジリエンスに関わる内容が全学年で取り上げられている。 ⑤ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に係る教材が、11題示されている。 ・現代的な課題として、「国際理解・国際親善」に係る教材が10題示されている。 ・現代的な課題として、「情報モラル」に係る教材が7題示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材として全35（第1学年は34）教材が掲載されている。また、第1学年は6本、第2学年～第6学年は5本の付録教材を掲載している。 ・各学年で特に考えたいこと（命を輝かせる、いじめを生まない心、世界中のいろいろな人とつながるために等）が、示されている。 					

令和6年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

1 研究委員氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

2 報告

発行者の番号	224		発行者の略称	学研		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	118	218	318	418	518	618
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材名のそばに「キーワード」を設け、教材への関心をもてるようにしている。 ② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教材末の「考えよう」では、主題について考えを深める問いや、発展的に考える問いが示されている。 ・「道徳の学習が始まるよ」では、道徳科の学習を進めるための、学習手順が示されている。 ③ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「心のパスポート」では、教材と関連した情報が示されている。 ・学びを深めるツールとして、デジタルコンテンツの活用が各学年10程度紹介されている。 ・巻頭に「つながる私 ひろがる私、巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自身の成長を振り返ることができるようにしている。 ④ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう」では、「つかもう」、「探そう」等の学びを深めるためのステップが、学年に応じて示されている。 ⑤ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルについて、児童の発達や成長に合わせた教材を取り上げ、課題について考えることができるようになっている。 ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に係る教材が、10題示されている。 ・現代的な課題として、「国際理解・国際親善」に係る教材が10題示されている。 ・現代的な課題として、「情報モラル」に係る教材が9題示されている。 <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全35（第1学年は34）教材示されている。 ・現代的課題に関わって整理された11のテーマにマークが決められ、目次や教材に付されている。 ・「いのち」を最重要テーマとし、全ての学年で3教材用意されている。 ・「いのちユニット」「多様性ユニット」「キャリアユニット」を設定し、考えを深めることができるようになっている。 					